

テス (1979)

TESS

メディア 映画
ジャンル ドラマ ロマン
製作国 フランス/イギリス
色彩 Color
時間 171分
初公開日 1980/10/25
公開情報 ヘラルド
映倫 G
リバイバル 2023/01/06 [キングレコード] (4Kリマスター版)

【キャッチコピー】

テスがはじめて愛を知った日、ヒースの丘に悲しみの風が舞った。

【解説】

文豪ハーディの名作を、ポランスキーが英国ロマンの薫りふんだんに映像化した大作メロドラマ。19世紀末、ドーセット地方の貧農の娘テス（キンスキー）は遠縁のダーバビル家に奉公に出される。その息子にかどわかされ私生児を孕んだ彼女だが、実家に戻って生んだ子はわずか数週間で死んでしまう。後に働きに出た農場で牧師の息子（ファース）と美しい恋に落ち結婚するが、テスの過去を初夜に知った彼はそのまま外国に去っていく。流転の人生の果てに再び彼とめぐりあうテスだが、もはや新たな選択は破滅を意味した……。誘惑の苺に奮いつく唇の艶かしさ、野卑な農婦の中で際立つ清楚さ、テス＝キンスキーの美しさが多くを担う作品だが、P・サルドのスコア、G・アンスワースのカメラともに流麗にして甘美。珍しく風景に大いに語らせるポランスキーの演出作法も堂に入ったもので、ラスト近く、度々映し出されるストーンヘンジの崇高なシルエットが意味ありげだ。

【クレジット】

監督	ロマン・ポランスキー	Roman Polanski
製作	クロード・ベリ	Claude Berri
製作総指揮	ピエール・グルンSTEIN	Pierre Grunstein
原作	トーマス・ハーディ	Thomas Hardy
脚本	ジェラルド・ブラッシュ	Gerard Brach
	ロマン・ポランスキー	Roman Polanski
	ジョン・ブラウンジョン	John Brownjohn
撮影	ギスラン・クロケ	Ghislain Cloquet
	ジェフリー・アンスワース	Geoffrey Unsworth
音楽	フィリップ・サルド	Philippe Sarde
出演	ナスターシャ・キンスキー	Nastassja Kinski
	ピーター・ファース	Peter Firth
	リー・ローソン	Leigh Lawson
	デヴィッド・マーカム	David Markham
	アリエル・ドンバール	Arielle Dombasle